

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史B	4	3年1類A・C型	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		日本史B (山川出版社)	プリント等

科目の到達目標

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項（近世～近代・現代）を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年5回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 近世 幕藩体制の動揺 ・幕政の改革 ・江戸幕府の衰退 ・化政文化	江戸幕府の支配が揺らいでいく経緯を理解する 江戸時代後期の政治・経済・文化について理解する	幕政の改革 幕藩体制の動揺と外圧 幕藩体制の動揺と政治改革 新しい学問の形成と化政文化	授業中の関心・意欲・態度
	5 近代・現代 近代国家の成立 ・開国と幕府の滅亡	ペリーの来航と日本開国の経緯を理解する 幕末の攘夷運動と幕府や新政府の動きを理解する	ペリー来航と日本の開国 開国による社会の変化 幕府の動揺 幕府の滅亡 統一国家の形成へ	ノート提出 中間考査
	6 ・明治維新	明治政府の発足による社会の変化と国際情勢について理解する	新政府の発足 近代国家を目指して 殖産興業と文明開化 明治初期の対外関係 新政府への反抗	
	7 ・立憲国家の成立	自由民権思想と、それに対しての政府対応について理解する	自由民権運動 専制政治への批判 憲法の制定 立憲政治の成立	ノート提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	近代・現代 近代国家の成立 ・大陸政策の展開	日清・日露戦争に至った経緯 とその影響について理解する	条約改正 朝鮮をめぐる対立 日清戦争と東アジアの変容 中国分割と日露戦争 日露戦争後の国際関係	授業中の関心・意 欲・態度
	10	・近代産業の発展 ・近代の文化	民衆の生活の実態、明治期の 文化について理解する	工業化と資本主義の発達 社会運動の発生 新しい文化の形成	
		二つの世界とアジ ア ・第一次世界大戦 と日本 ・政党政治と大衆 文化	第一次世界大戦が諸外国と日 本に与えた影響を理解する 大衆文化の実態を理解する	大正政変 第一次世界大戦と日本 第一次世界大戦後の国際情勢 第一次世界大戦の影響 大衆社会の形成	ノート提出 中間考査
	11	・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	世界の経済状況 昭和初期の内政と外交 日中戦争開戦の経緯について 理解する 第二次世界大戦、アジア太平 洋戦争開戦の経緯、戦争の経 過と社会への影響について理 解する	世界恐慌 揺れ動く経済と中国侵略の本格化 日中戦争と国内体制の改変 第二次世界大戦前の国際情勢 軍部の台頭 第二次世界大戦 アジア太平洋戦争 戦時下での国民の生活 敗戦	
	12				ノート提出 期末考査
三 学 期	1	近代・現代 現代の世界と日本 ・占領下の改革と 主権の回復	戦後の国内・国際社会につい て理解する	戦後の国際秩序 日本の民主化 占領下の政治 冷戦と日本の独立	授業中の関心・意 欲・態度 ノート提出 学年末考査
	2				
<p>その他（履修上の留意点・大学進学等のための学習など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学受験にも対応できるよう、授業内容や時間配分等の配慮をします。 ・日本史は暗記が欠かせない科目ですが、語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れに関連づけて理解するようにしましょう。 					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史B	2	3年1類B型	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		高校日本史B (山川出版社)	山川 詳説日本史図録 補助プリント等

科目の到達目標

- ① 日本史の基本的事項（中世～近代）を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多角的に学ぶことで歴史への関心を高める。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年3回の定期考査の点数を基本として、授業プリント、長期休暇課題等の提出状況等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント	
一 学 期	4 幕藩体制の成立 ・織豊政権	織田信長、豊臣秀吉の登場による時代の変化を理解する	大航海時代の余波 織田信長の天下布武 豊臣秀吉の全国統一と対外政策 桃山文化	授業プリント提出 期末考査	
	5 江戸幕府の成立 ・江戸初期の外交と文化	江戸幕府が成立する経緯と、徳川家康、秀忠、家光の権力掌握の経緯、幕藩体制のしくみを理解する	江戸幕府の成立 幕府と藩の支配体制 年貢と身分制 禁教と貿易統制 寛永期の文化		
	6 幕藩体制の展開 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化	江戸幕府の支配が確固たるものになる経緯を理解すると共に、民衆史を認識する	元禄・正徳の政治 経済の発展 町人文化と学問の発達 元禄文化		
	幕藩体制の動揺 ・幕政の改革	幕藩体制のひずみと弱体化の過程・外圧、そして文化について学習する	享保の改革と社会の変容 田沼時代 宝暦・天明期の文化と思想		
	7 江戸幕府の衰退 ・化政文化		寛政・天保の改革と鎖国の動揺 化政文化と学問・思想		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	近代国家の成立 ・ 開国と幕府の滅亡 ・ 明治維新	開国による幕府の動揺と国内 外の動きについて学習する 新政府の動きについて学習す る	開国の影響と尊皇攘夷の動き 幕府の滅亡 明治維新 殖産興業と文明開化 明治初期の国際情勢	夏季課題の提出
	10	・ 立憲国家の成立 ・ 大陸政策の展開	近代国家の形成への道のりと 明治の外交政策から学習する	自由民権運動 立憲政治の成立 初期議会 条約改正 日清戦争	
	11	・ 近代の文化 二つの世界大戦 とアジア ・ 第一次世界大戦と 日本	第一次世界大戦開戦の経緯と その影響について理解する	日露戦争とその後の国際関係 産業革命 社会運動の発生 明治の文化と学問・思想	
	12	・ 政党政治と大衆文 化		第一次世界大戦 大戦景気と米騒動 ワシントン体制 戦後恐慌と関東大震災 社会運動の高揚と大衆文化	授業プリント提出 期末考査
三 学 期	1	・ 恐慌の時代		恐慌と内外政策の転換	授業プリント提出 学年末考査
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次では、主に近世～近代の学習を行う。 ・ 軍部の台頭以降の日本史については授業の中で十分に取り扱うことができないので、大学受験に対応するために各自計画的に学習を進めるよう指導する。 ・ 語句の暗記のみにとどめるのではなく、歴史の流れや影響、現在の自分たちとも関連づけて考えさせる。 					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史A	2	3年2類 文系	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	高校日本史B (山川出版社)	詳説日本史図録第8版(山川出版社)、 プリント教材等	

科目の到達目標

まず戦後史を学習したあと、大学入学共通テスト対策および私大入試対策として、実践問題の演習と解説を行う。

評価の観点と方法について

定期考査を評価の基本とし、ノートや夏季課題の提出状況・内容などを平常点として加味して総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 第11章 現代の世界と 日本	戦後の日本の移り変わり について、世界との関係に 留意して理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領と国内改革 	
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会への復帰と高度経 済成長 	
	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油ショックと低成長の時 代 	ノート提出
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい国際秩序と日本の課 題 	期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	実践問題演習・解説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、入試問題に対応できる力をつける。	・プリント教材による、入試過去問・実践問題の演習および解説。必要に応じて重要項目の復習等も行う。	夏季課題提出
	10				
	11				ノート提出
	12				期末考査
三 学 期	1	実践問題演習・解説	入試過去問・実践問題の演習を通じて、復習を行い、入試問題に対応できる力をつける。	・プリント教材による、入試過去問・実践問題の演習および解説。必要に応じて重要項目の復習等も行う。	

その他（履修上の留意点 大学進学のための学習など）

実践問題はできるだけ家庭で演習するようにし、授業では解説を中心に行う。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史B	3	3年2類文型	必修
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		高校日本史 B (山川出版社)	山川 詳説日本史図録 山川 高校日本史ノート

科目の到達目標

- ① 2年次に学習したことを引き継ぎ、日本史の基本的事項（近代～現代）を広く学ぶ。
- ② 日本の歴史の大きな枠組みと展開を、資料に基づき地理的条件や世界史と関連づけながら理解する。
- ③ 教科書の暗記のみにとどまらず、各時代を多面的・多角的に学ぶ。
- ④ 日本史の学習を通して、文化の多様性・複合性と、現代世界の特質を広い視野から考察する態度を身につける。

評価の観点と方法について

年4回の定期考査の点数を基本として、授業ノートやプリント、長期休暇課題等の提出状況、授業に取り組む姿勢等を考慮した平常点を加味し、総合的に評価する。

	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 近代国家の成立 ・開国と幕府の滅亡	開国の影響と幕府滅亡に至る経緯について、外国との関係とともに理解する	開国と幕府の動揺 尊皇攘夷運動と倒幕	ノート提出 中間考査
	5 明治維新	明治政府の発足による社会の変化と国際情勢について理解する	中央集権体制の確立 明治新政府の政策 文明開化	
	・立憲国家の成立 ・大陸政策の展開	日清戦争・日露戦争の経緯と戦後の影響について理解する	自由民権運動と立憲体制の確立 条約改正 日清戦争 日露戦争	
	6 近代産業の発展 ・近代の文化	産業の発展に伴う社会変化について理解する 明治時代の文化・学問・思想について理解する	産業革命 社会運動 近代産業の発展と社会問題 明治時代の学問・思想・文化	
	二つの世界大戦とアジア ・第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦開戦の経緯とその影響について理解する	第一次世界大戦前の日本の政治 第一次世界大戦後の国際情勢 第一次世界大戦の影響	ノート提出 期末考査
	7 政党政治と大衆文化		政党政治の展開 大正デモクラシー 文化の大衆化	

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	・ 恐慌の時代	恐慌と内外政策の経緯について理解する	昭和初期の国内政治 昭和初期の外交政策 第二次政界大戦前の国際情勢	夏季課題提出
	10	・ 軍部の台頭	軍部の台頭による満州事変・政党政治の崩壊について理解する	軍部の台頭	ノート提出
		・ 第二次世界大戦	日中戦争とアジア太平洋戦争開戦の経緯、戦争の経過と社会への影響について理解する	日中戦争 アジア太平洋戦争 戦時下の国民生活と社会のようす 敗戦	
	11	現代の世界と日本 ・ 占領下の改革と主権の回復	戦後の国内・国際社会について理解する 戦後の政治・世界情勢の流れを理解する(必要に応じてプリントを使用する)	戦後の国際情勢 日本の民主化 占領下の政治 戦後の経済再建 戦後の人々の暮らし 冷戦と日本の独立 55年体制の成立 高度経済成長	ノート提出
12	・ 55年体制と高度経済成長 ・ 現代の情勢 ・ 演習		大学入学共通テストを見据えた演習を行う	期末考査	
三 学 期		大学入学共通テスト直前対策			
<p>その他(履修上の留意点・大学進学等のための学習など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学受験にも対応できるよう、授業内容や進度を工夫する。(必要に応じてプリント教材なども使用) ・ 大学入学共通テスト対策の実践問題演習も行う。 					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
日本史 B	3	3年3類	選択
授業担当者		教科書名	副教材等
*****		山川出版社・日本史 B	プリント等を準備

<p>科目の到達目標</p> <p>2年次に学習したことを引き継いで、寛政の改革後、19世紀前半から現代にいたる日本の歴史を、教科書に沿って学習する。現代社会の原点が、日本開国以後の日本にある事を確認し、前近代と近代以後の政治・社会・文化・そして人々の価値観の変化を、史料なども参考にして学習する。</p> <p>生徒の理解度に合わせて学習し、必要に応じてプリント教材なども使用する。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期テストを基本に評価するが、夏期休暇の課題も平常点として加算する。また、ノート・プリント類の提出等も平常点の対象にする。テストでは史料から考えさせ、歴史事象の因果関係を把握しているかどうか確認するなど、単なる名称や年代暗記の確認のみにならないよう留意する。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	江戸幕府の衰退	政治・社会・産業・交通・文化を学習する 幕藩体制のひずみと弱体化の過程・外圧、そして文化について学習する	<ul style="list-style-type: none"> 政治の変遷について 社会・文化について 享保の改革と田沼時代 幕藩体制の動揺と外圧 幕藩体制の動揺と政治改革 新しい学問の形成と化政文化 	中間テスト
	5	開国と幕府の滅亡	ペリーの来航と日本開国の経緯から学習する 幕末の攘夷運動と幕府や新政府の動きから学習する	<ul style="list-style-type: none"> 開国から明治維新へ 幕府の滅亡 統一国家の形成 近代国家を目指して 殖産興業と文明開化 	
	6	明治維新	近代国家の形成への道のりと明治の外交政策から学習する 自由民権思想と、それに対する政府の対応から学習する	<ul style="list-style-type: none"> 明治初期の国際情勢 立憲政治の形成と国民文化 政府専制への批判 立憲政治の成立 新しい文化の形成 	ノート提出
	7	立憲国家の成立			<p>期末テスト</p> <p>夏期課題の指示</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	大陸政策の展開	日清・日露戦争に至った経緯を具体的に学習する	<ul style="list-style-type: none"> 日本の近代化と東アジア 日清戦争と東アジアの変容 中国分割と日露戦争 	夏期課題の提出
	10	近代産業の発展	民衆の生活の実態、文化から学習する	<ul style="list-style-type: none"> 工業化と資本主義の発達 	中間テスト
	11	第一次世界大戦と日本	第一次世界大戦が諸外国と日本に与えた影響から学習する	<ul style="list-style-type: none"> デモクラシーと第一次世界大戦 第一次世界大戦と日本 新たな国際秩序と日本への影響 	
	12	第二次世界大戦と日本の社会	<p>大衆文化の実態から学習する</p> <p>昭和初期の内政と外交</p> <p>世界の経済状況</p> <p>第二次世界大戦前の国際情勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> 大衆社会の形成 揺れ動く経済と中国侵略の本格化 日中戦争と国内体制の改変 	<p>ノート提出</p> <p>期末テスト</p>
三 学 期	1		日本と諸外国の動きについて学習する	<ul style="list-style-type: none"> 軍部の台頭、アジア・太平洋戦争への突入 	ノート提出 学年末テスト
	2		皇国臣民化政策や沖縄戦、原爆をテーマに平和について学習する	<ul style="list-style-type: none"> 戦時下での国民の生活 歴史学習から学び取る平和について 	
<p>その他</p> <p>大学等の受験に対応できるよう、必要に応じて、文化史をプリント教材で進める等、進度上の工夫を行う場合がある。</p>					

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理B	2	3年 1類 B型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	新編詳解地理B (二宮書店)	詳解現代地図 (二宮書店)	

<p>科目の到達目標</p> <p>地理的なものの見方、思考力を身につける。また世界の文化・産業等を通して地域的特色を学ぶ。</p> <p>そして、私たちの生きる現代日本と世界を多面的に比較して、国際社会を生きる人間としての自覚を養う。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>年3回の考査の点数を基準とする。またノートや夏季課題等の提出状況などを考慮して総合的に評価する。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4	流通と消費	貿易・観光の現状から現代社会の課題について考える	世界と日本の貿易 商業環境の変化 観光産業の発展	ノートの提出 期末考査
	5	第3章 人口と村落・都市	現在の人口・都市問題から将来の社会問題を予測する	世界の人口分布と人口増加 世界と日本の人口問題 村落の成り立ちと機能 都市の発達と形態 都市の拡大と都市圏 世界と日本の都市・居住問題	
	6	第4章 生活文化と 民族・宗教	世界の衣・食・住の特徴を知るとともに、民族や領土をめぐる争いについて理解する	世界の衣・食・住 世界の言語と宗教 国家の形成と領域 民族問題と領土問題 国家間の結びつきと国際連合の役割	
	7				

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第Ⅲ編 現代社会の 地誌的考察	世界の各地の地誌を、最近 の状況と国際関係を重視 して理解する。	東アジア	
	10			東南アジア	
				南アジア	
	11			西・中央アジア	
アフリカ					
12	ヨーロッパ				
	ロシア				
				アングロアメリカ	ノートの提出 期末考査
				ラテンアメリカ	
	12			オセアニア	
三 学 期	1	実践問題演習	入試過去問題等の演習と 既習内容の 復習	入試過去問題等の演習やプリント等 により、既習内容の復習とセンター入 試対策を行う	期末考査

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

入試対策として、統計資料集・過去問などのプリント教材等を補助教材として使用する。
必要に応じて、時事的内容も紹介する。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
地理B	3	3年 2類 理型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	新編詳解地理B (二宮書店)	詳解現代地図(二宮書店)、新地理要点ノート(啓隆社)、 地理統計要覧(二宮書店)、資料地理の研究(帝国書院)	

<p>科目の到達目標</p> <p>早めに教科書内容の学習を終え、その後は実践問題演習を中心に既習範囲の復習を行い、大学入学共通テスト対策を行う。</p> <p>特に地形図の読図、統計・資料の読み取りに慣れさせる。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>年間4回の考査(1学期中間・期末、2学期中間・期末)の点数を基準とする。</p> <p>また、ノートや夏季課題の提出等も評価の対象とする。</p>
--

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
期	4	工業	世界の工業地域について知り、グローバル化する工業生産について理解を深める	世界の工業と工業地域 グローバル化する工業生産と多国籍企業 グローバル化の中の日本の工業	ノートの提出 中間考査
	5	流通と消費	交通・通信・貿易等の現状から現代社会の課題について考える	世界を結ぶ交通 情報通信の発達 世界と日本の貿易 商業環境の変化 観光産業の発展	
	6	第3章 人口と村落・都市	現在の人口・都市問題から将来の社会問題を予測する	世界の人口分布と人口増加 世界と日本の人口問題 村落の成り立ちと機能 都市の発達と形態 都市の拡大と都市圏 世界と日本の都市・居住問題	
	7	第4章 生活文化と民族・宗教	世界の衣・食・住の特徴を知るとともに、民族や領土をめぐる争いについて理解する	世界の衣・食・住 世界の言語と宗教 国家の形成と領域 民族問題と領土問題 国家間の結びつきと国際連合の役割	ノートの提出 期末考査

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第Ⅲ編 現代社会の 地誌的考察 実践問題演習	世界の各地の地誌を、 最近の状況と国際関 係を重視して理解す る。 入試過去問題等の演 習と既習内容の 復習	東アジア 東南アジア 南アジア・西・中央アジア アフリカ・ヨーロッパ・ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ・オセアニア 入試過去問題等の演習やプリント等により、 既習内容の復習とセンター入試対策を行う。	夏季課題の提出
	10				ノートの提出
	11				中間考査
	12				ノートの提出 期末考査
三 学 期	1	大学入学共通テ スト直前対策			
<p>その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など） 入試対策として、過去問・模試などのプリント教材等を補助教材として使用する。 必要に応じて、時事的内容も紹介する。</p>					